

テュフ ラインランド ジャパン株式会社
TUVdotCOM サービス > 0000707070

TÜV Rheinland Group Japan



[地図](#)
[English](#)

再生の美 櫻井 正一 & コリーン展

会期: 2009年2月20日(金)~2009年4月23日(木)
時間: 平日 9:00~18:00 入場無料
土・日・祝日は休み
場所: テュフラインランドフォーラム
横浜市港北区新横浜 3-19-5 新横浜第二センタービル 1F
TEL: 045-470-1850
FAX: 045-473-5221
展示作品: 40点

2月20日(金) 17:30よりオープニングパーティを行います。
ドイツワインを囲んでご歓談ください。参加無料。



展示について

テュフ ラインランド フォーラム 第16回目では、「捨てない」をテーマに見捨てられてしまった廃物を使い、斬新なアイデアと独自の観点で美しさや新たな命を吹きこむ”再生の美”を灯る造形や身につける造形作品で表現いたします。

アーティストからのメッセージ

正一

” つまらなく終わらせたくない。”

モノであっても、ことであっても、人であっても.....。

この世に生まれ人々の生活を支えてくれたモノなのに、役を終えるといとも簡単に捨てられてしまうモノたち。何も生まれて来たとおりの姿で終わらせてしまうことはない。造形作家としてオブジェから衣服まで色々なモノを創っていますが、それらの基になる素材を探すたびに、私が現在一番強く思うことは、そのまま終わらせてしまっは、” もったいない ” と感じるモノが、本当に多すぎる、ありすぎるということ。

人々から見向きすらされなくなってしまったモノからでも、素敵な何かを創り出すことは可能です。不用となり、忘れ去られてしまうばかりのモノたちを再利用して新たなモノを創り出す、そこには次の世代に繋ぐ重要なポイントがあると思います。違う観点から見ることにより、そのモノの持つ短所をも長所へとし、新たな命を吹き込ませる「再生の美」への挑戦を伝えたいと願います。

コリーン

和紙、それは来日していちばんはじめに心を奪われたモノ。

シンプルで純粋な創造のために、複雑な手腕を重ねる職人に深く共感しました。私にとって和紙はただのキャンバスではない。私自身紙を手掛ける際にも、先人への敬意は忘れません。私の目標は、自分らしさを大切にし、和紙の持つ未知の領域を切り開き続けること。見捨てられたモノたちがあるかぎり、正一と共に生み出す豊富なアイデアに尽きることはないでしょう。

櫻井 正一 & コリーン プロフィール

1962年1月、東京下町に建具職人の長男として生まれる。その日本の伝統的な世界の良さがまるで理解できず、常にアメリカ文化に憧れを持ち育つ。

日本の風習にむしろ反発心さえ感じていて、ホテルマン、ミュージシャン、クラブマネージャーなどを経て、20代終わりの頃日本から飛び出し渡米。

骨董商として数年間のアメリカでの生活により、外側から日本の文化を見直してみる眼が与えられたことと、日本の伝統工芸に強く関心を持っていた後に妻となるアメリカ人ジャズシンガー、コリーンとの出会いが大きな転機となる。

ともにアジア各地を巡り、その地の文化や手仕事に感銘を受け、帰国後日本の伝統文化や工芸への想いがつのり「モノ創り」に執着。95年工房を開く。

「 ” 捨てない” 再生の美に挑む。」 違う観点から見ることにより、傷み、汚れもまた景色として善しと、かつて日本にあったその文化に斬新なアイデアを加え創作活動を続けている。個展は、アメリカ、ヨーロッパと日本にとどまらない。

<http://www.shoichi-sakurai.com>

パンフレットダウンロード

お問合せ

E-mail: [テュフ ラインランド ジャパン](mailto:teuf@teuf-japan.com)

電話: 045-470-1850